

7月29日～31日

「東北被災地訪問研修」

市立高校生徒・教職員43名（舟入高校からは生徒11名、教員1名の参加）で宮城県石巻市、岩手県陸前高田市に行ってきました。

1日目 新幹線で仙台駅まで移動後、バスで石巻市へ向かいました。

現地では、地元の元小学校校長に震災当時の話をさせていただいたり、バスで市内を見学しました。

2日目 バスで陸前高田市に向かう途中、気仙沼市で「第十八 共徳丸」を見学しました。

陸前高田市では元気仙小学校校長に話をさせていただいたり、今回の研修を様々な面で助けてくださった元大船渡高校教頭の村上育朗先生に市内を案内していただきました。

夜は避難所として使われていた小泉公民館に宿泊させていただきました。当時と同じように布団の代わりに各自座布団三枚、毛布一枚を渡しました。

3日目 朝早く起きて「一本松」を見に行きました。



出発前の様子



移動のバス内でそれぞれ自己紹介



石巻市内の様子



震災時の石巻市の様子を話していただきました



「第十八 共徳丸」



陸前高田市市内を歩きながら説明を受けました。



現地でボランティアに参加



小泉公民館で就寝準備



朝早く起きて一本松へ向けて散歩



奇跡の一本松

今までテレビや報道では目や耳にしていた東北の被災地でしたが、生徒たちは今回実際に足を運んでみて様々なことを感じ取ったと思います。どこに行っても工事の音が鳴り響き、砂煙を上げて大型ダンプカーが走っています。通りかかる学校の校庭には仮設住宅が建ち並んでいます。未だ復興とはほど遠い現状を実際に見て、生徒たちが何を考え、今後どう生きていくのかしっかり見守っていきたいと思います。

最後になりましたが、お世話になった村上先生をはじめ現地の方々、本当にありがとうございました。